

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PEM+CDDP+Bevacizumab 療法 (short hydration)

3 週毎 4 - 6 コース予定

疾患名 非小細胞肺癌

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓
ペトレキセド	500 mg/m ²	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓

【注意】* 一日の尿量が 3000mL 以上になるように調整すること。

* ベバシズマブの点滴時間は初回投与時 90 分かけて点滴静注、2 回目の投与は 60 分間で行って良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30 分間投与でも良い。

* シスプラチンは遮光のこと。

* 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液 500mL を 1 日 2 本飲水すること

* ペトレキセド投与の 7 日以上前よりパンビタン末を 1g 分 1 で内服開始。^{注1}

* ペトレキセド投与の 7 日以上前より

メチコパール注 500 μg 2A(1mg)を筋注(以後 9 週間毎)。^{注2}

注 1: 投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する

注 2: 投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週ごと(3 コースごと)に 1 回投与する

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1Cap を内服

① 生食 500mL で血管確保 維持(20mL/時間)

② 生食 500mL + L-アスパラギン酸K 10mEq + 硫酸Mg補正液 4mEq

点滴静注 60 分(500mL/時間)

PEM+CDDP+Bevacizumab 療法(short hydration)

- ③ ベバシズマブ + 生食 適量(全量 100mL) 点滴静注(90~30 分)
- ④ 生食 100mL + グラニセトロン注 3mg 1筒 + デキサメタゾン注 9.9mg (3 mL)
点滴静注 30 分(200mL/時間)
- ◎ メインの生食でフラッシュ
- ⑤ ペメトレキセド + 生食 100mL 点滴静注 10 分(600mL/時間)
- ◎ メインの生食でフラッシュ
- ⑥ 20%マンニトール 200mL 点滴静注 30 分(400mL/時間)
- ⑦ シスプラチン + 生食 300mL 点滴静注 120 分(240mL/時間)
- *生食 200mL をバッグから前もって抜いておく
- ⑧ 生食 500mL + L-アスパラギン酸K 10mEq + 硫酸Mg補正液 4mEq
点滴静注 60 分(500mL/時間)

day 2,3

アプレピタントカプセル (80 mg) 1Cap 1×朝 内服

day 2-4

デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝、昼 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						